

---

---

法 適 用 企 業

---

---

# 全事業の概況

## 1 事業規模

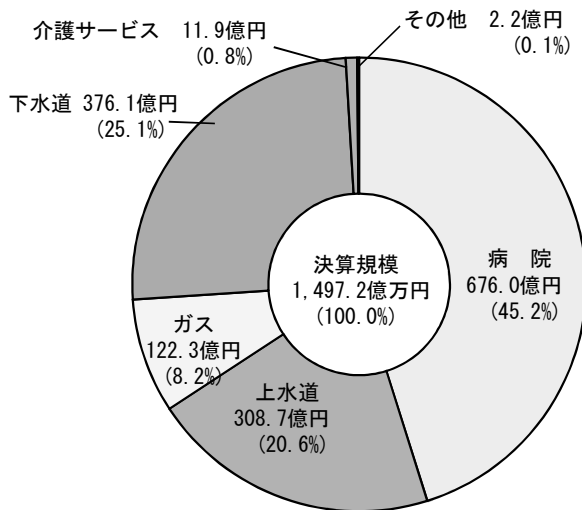
平成29年度の市町および一部事務組合が経営する法適用企業の数、前年度から5事業増加し、44事業となった。

事業別では、上水道事業19事業、下水道事業10事業、病院事業10事業、ガス事業1事業、介護サービス事業3事業、その他事業1事業となっている。

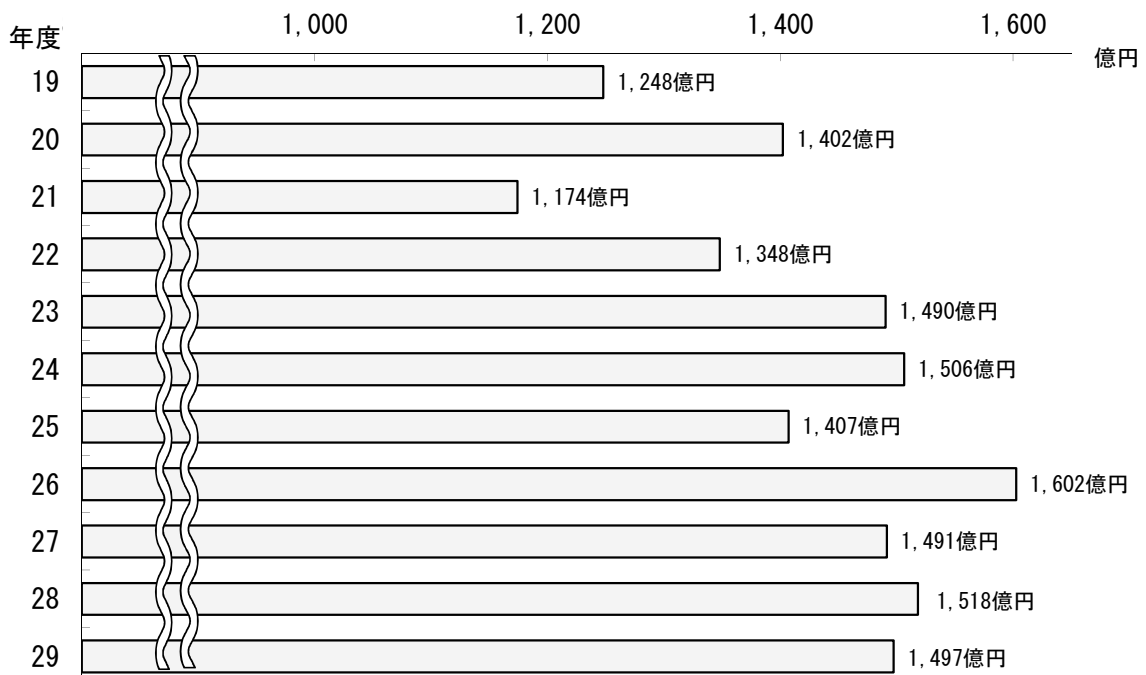
平成29年度の決算規模は1,497億20百万円で、前年度に比べ20億99百万円、1.4%の減少となっている。

第1図 決算規模でみた地方公営企業の状況

※ 決算規模＝総費用－減価償却費  
＋資本的支出



第2図 決算規模の推移



## 2 経営状況

### (1) 収益的収支

平成29年度の総収支の状況をみると、黒字事業は35事業（前年度32事業）、赤字事業は10事業（前年度7事業）となっている。赤字事業の内訳は、病院事業6事業、上水道事業が2事業、下水道事業が1事業、介護サービス事業1事業となっている。

総収益は1,379億17百万円で、前年度（1,390億79百万円）に比べ11億62百万円（0.8%）減少し、総費用は1,336億40百万円で、前年度（1,356億77百万円）に比べ20億37百万円（1.5%）減少している。この結果、純損益（純利益－純損失）は42億77百万円の黒字となり、前年度より8億75百万円増加した。また、総収支比率は103.2%と前年度より0.7ポイント上昇している。

収益的収支のうち経常収支の状況をみると、経常収益は1,373億84百万円で前年度（1,365億62百万円）に比べ8億21百万円（0.6%）増加、経常費用が1,321億76百万円で前年度（1,350億8百万円）に比べ28億31百万円（2.1%）減少しており、経常収支比率は103.9%と前年度（101.2%）より2.7ポイント上昇している。

第 1 表 収益的収支の状況

（単位：千円、%）

項目	年度	H28 (A)	H29 (B)	対前年度比較	
				(B) - (A) (C)	(C) / (A)
総 収 益		139,079,431	137,916,543	△ 1,162,888	△ 0.8
経 常 収 益		136,562,609	137,383,704	821,095	0.6
営業収益		114,958,018	112,423,259	△ 2,534,759	△ 2.2
営業収益（受託工事収益除く）		114,386,725	111,813,464	△ 2,573,261	△ 2.2
総 費 用		135,677,003	133,639,866	△ 2,037,137	△ 1.5
経 常 費 用		135,007,517	132,176,272	△ 2,831,245	△ 2.1
単年度純利益		6,688,421	7,339,806	651,385	9.7
純損失		3,285,993	3,063,129	△ 222,864	△ 6.8
単年度経常利益		5,684,443	7,217,561	1,533,118	27.0
経常損失		4,129,351	2,010,129	△ 2,119,222	△ 51.3
累積欠損金		42,162,496	29,605,388	△ 12,557,108	△ 29.8
不良債務		27,899	0	△ 27,899	皆減
総収支比率		102.5	103.2	0.7	0.7
経常収支比率		101.2	103.9	2.7	2.7
営業収益 に対する 比率	単年度欠損金比率	2.9	2.7	△ 0.2	△ 6.9
	累積欠損金比率	36.9	26.5	△ 10.4	△ 28.2
	不良債務比率	-	-	-	-
事業数		39	44	5	12.8
単年度欠損金のある事業数		7	10	3	42.9
累積欠損金のある事業数		11	10	△ 1	△ 9.1
不良債務のある事業数		-	-	-	-
赤業 字数の 等の割 の割合 事合					
単年度欠損金のある事業		17.9	20.5	2.6	14.5
累積欠損金のある事業		28.2	22.7	△ 5.5	△ 19.5
不良債務のある事業		-	-	-	-

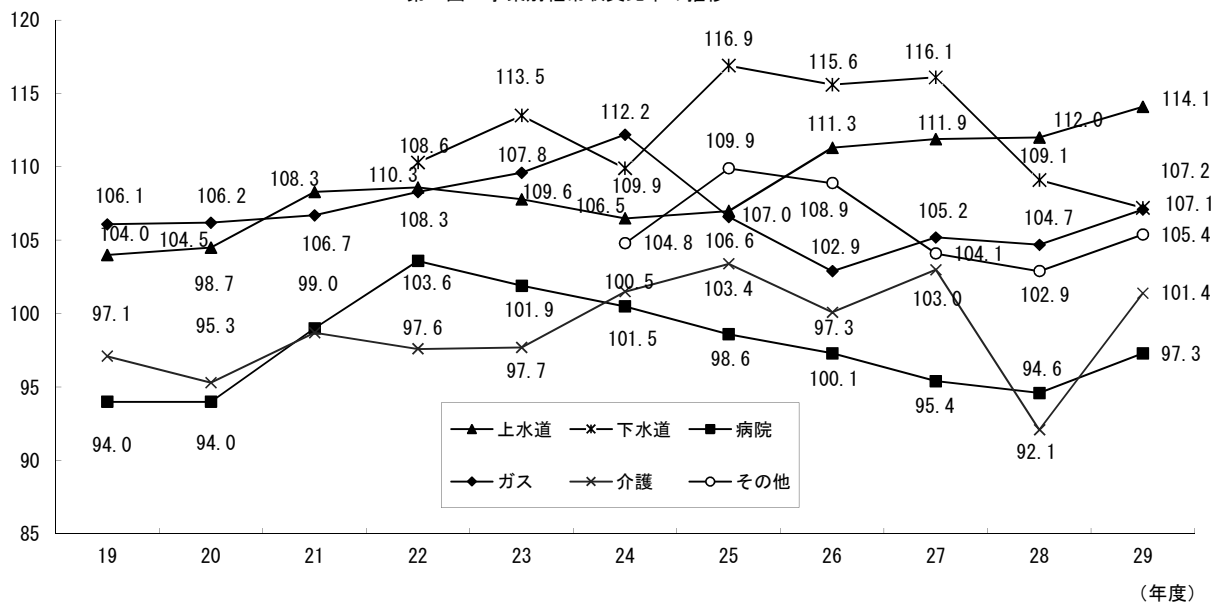
第 2 表 事業別収益的収支の状況

(単位：千円、%)

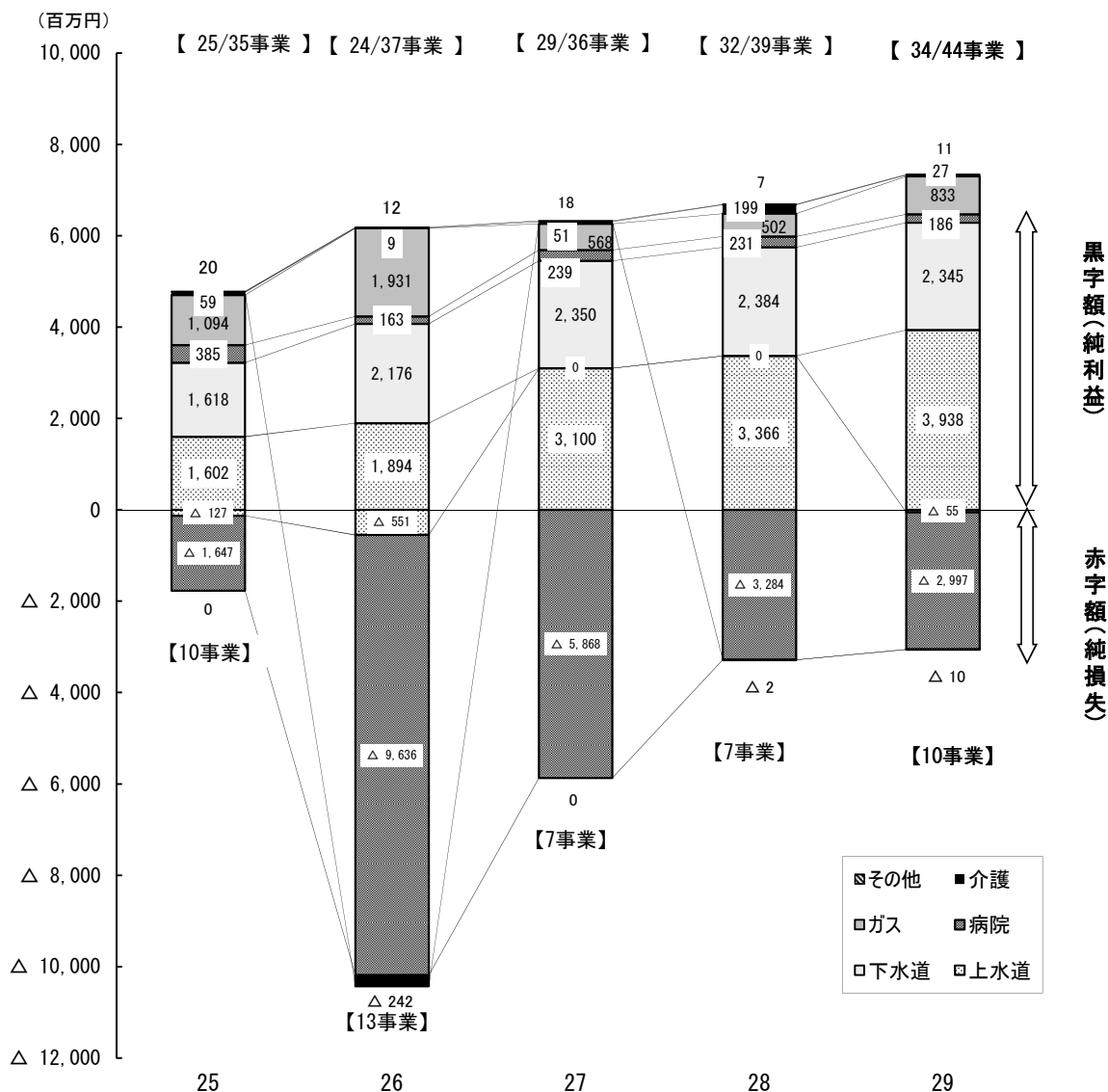
事業		全事業	上水道	下水道	病院	ガス	介護サービス	その他
項目								
総収益		137,916,543	30,920,529	33,039,325	59,941,380	12,595,715	1,210,621	208,973
経常収益		137,383,704	30,668,939	32,850,353	59,850,048	12,595,667	1,209,724	208,973
営業収益		112,423,259	25,826,289	19,008,853	54,051,969	12,402,570	1,026,857	106,721
営業収益(受託工事収益除く)		111,813,464	25,592,284	18,991,697	54,051,969	12,043,936	1,026,857	106,721
総費用		133,639,866	27,037,762	30,693,889	62,753,237	11,762,730	1,194,025	198,223
経常費用		132,176,272	26,889,407	30,655,127	61,482,110	11,758,869	1,192,567	198,192
単年度純利益		7,339,806	3,938,234	2,345,436	185,598	832,985	26,803	10,750
純損失		3,063,129	55,467	-	2,997,455	-	10,207	-
単年度経常利益		7,217,561	3,823,776	2,195,226	323,556	836,798	27,424	10,781
経常損失		2,010,129	44,244	-	1,955,618	-	10,267	-
累積欠損金		29,605,388	21,831	487,915	28,951,925	-	143,717	-
不良債務		-	-	-	-	-	-	-
総収支比率		103.2	114.4	107.6	95.5	107.1	101.4	105.4
経常収支比率		103.9	114.1	107.2	97.3	107.1	101.4	105.4
営業収益に対する比率	単年度欠損金比率	2.7	0.2	-	5.5	-	1.0	-
	累積欠損金比率	26.5	0.1	2.6	53.6	-	14.0	-
	不良債務比率	-	-	-	-	-	-	-
事業数	44	19	10	10	1	3	1	
単年度欠損金のある事業数	9	2	-	6	-	1	-	
累積欠損金のある事業数	10	1	1	7	-	1	-	
不良債務のある事業数	-	-	-	-	-	-	-	
赤業								
字数	単年度欠損金のある事業	20.5	10.5	-	60.0	-	33.3	-
等の割合	累積欠損金のある事業	22.7	5.3	10.0	70.0	-	33.3	-
	不良債務のある事業	-	-	-	-	-	-	-
事合								

(%)

第 3 図 事業別経常収支比率の推移



第4図 収益的収支における黒字額・赤字額の推移



(2) 資本的収支

資本的支出は495億20百万円で、前年度(419億9百万円)に比べ76億11百万円(18.2%)増加している。

その内訳は、企業債償還金(元金)が298億2百万円で全体の60.2%を占め、次いで建設改良費が194億85百万円(全体の39.3%)となっている。

資金的支出に対する財源は、企業債等の外部資金が234億83百万円(資本的支出に対する割合47.4%)、損益勘定留保資金等の内部資金が265億27百万円(同53.6%)となっている。

第 3 表 資本的収支の推移

(単位：千円、%)

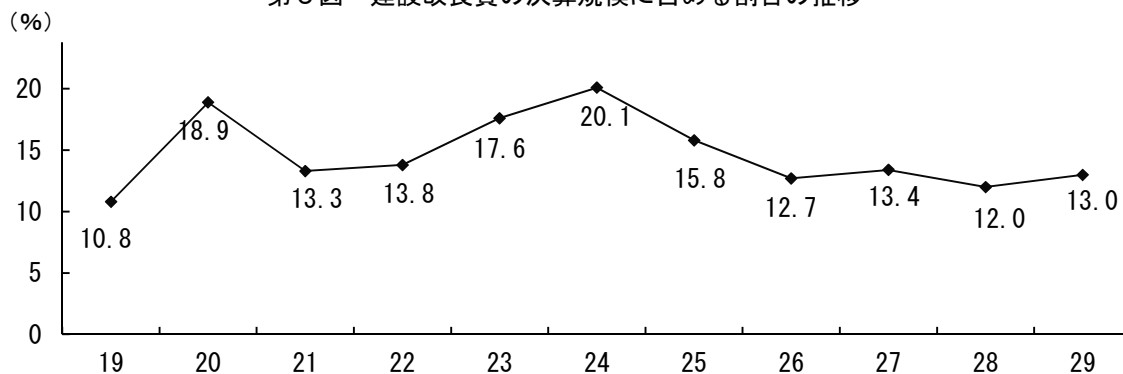
項目	年度	H28 (A)	H29 (B)	対前年度比較	
				(B) - (A) (C)	(C)/(A)
資本的支出					
建設改良費		18,161,242	19,485,315	1,324,073	7.3
企業債償還金		23,535,686	29,801,684	6,265,998	26.6
その他		211,668	233,014	21,346	10.1
計		41,908,596	49,520,013	7,611,417	18.2
上部財源					
内部資金		23,290,055	26,527,497	3,237,442	13.9
外部資金		18,614,936	23,482,526	4,867,590	26.1
企業債		7,729,700	11,727,800	3,998,100	51.7
他会計出資金等		6,645,632	7,436,772	791,140	11.9
その他		4,239,604	4,317,954	78,350	1.8
計		41,904,991	50,010,023	8,105,032	19.3
差引資金不足		3,605	△ 490,010	△ 493,615	△ 13692.5

第 4 表 事業別資本的収支

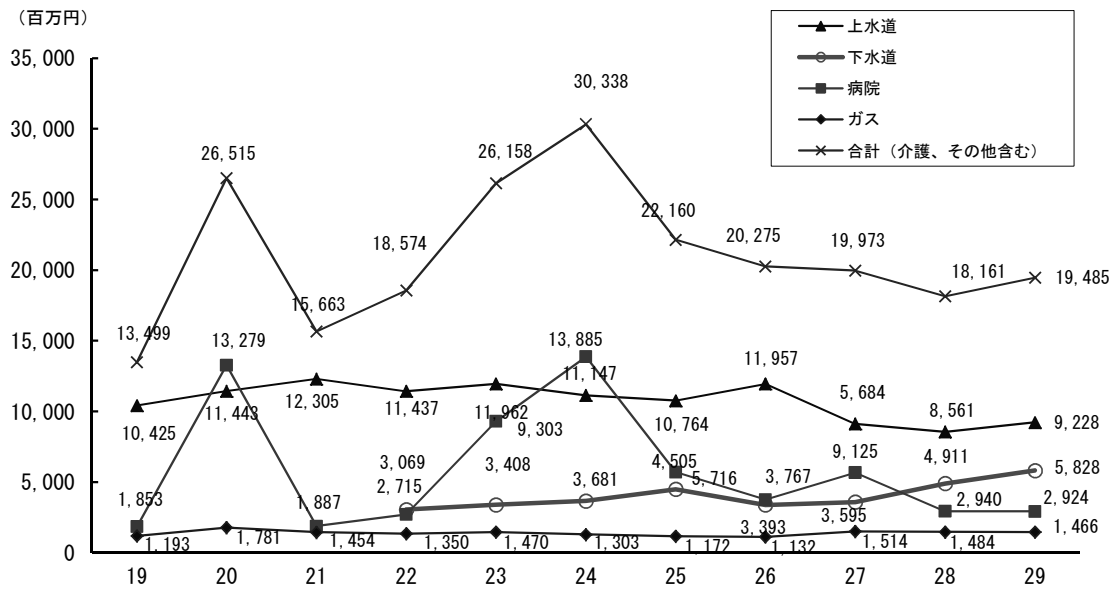
(単位：千円)

項目	事業	全事業	上水道	下水道	病院	ガス	介護サービス	その他
建設改良費		19,485,315	9,228,283	5,828,266	2,924,423	1,466,286	6,737	31,320
企業債償還金		29,801,684	5,538,716	17,707,073	6,483,929	-	67,050	4,916
その他		233,014	42,029	45,060	145,925	-	-	-
計		49,520,013	14,809,028	23,580,399	9,554,277	1,466,286	73,787	36,236
上部財源								
内部資金		26,527,497	9,678,708	12,591,109	2,767,461	1,455,196	28,787	6,236
外部資金		23,482,526	4,970,534	10,813,410	7,612,492	11,090	45,000	30,000
企業債		11,727,800	3,031,800	5,681,100	3,014,900	-	-	-
他会計出資金等		7,436,772	653,461	3,669,767	3,068,544	-	45,000	-
その他		4,317,954	1,285,273	1,462,543	1,529,048	11,090	-	30,000
計		50,010,023	14,649,242	23,404,519	10,379,953	1,466,286	73,787	36,236
差引資金不足		△ 490,010	159,786	175,880	△ 825,676	-	-	0

第 5 図 建設改良費の決算規模に占める割合の推移



第6図 建設改良費の推移



### 3 料金収入

平成29年度の料金収入は1,073億96百万円で、前年度（1,097億96百万円）に比べ24億円（2.2%）減少している。

料金収入の大きい主な事業は、病院事業が513億4百万円（料金収入の47.8%）で最も大きく、次いで上水道事業250億5百万円（同23.3%）、下水道事業179億64百万円（同16.7%）となっており、これら3事業で87.8%を占めている。

なお、総収益に占める料金収入の割合は77.9%（前年度78.9%）となっており、総収益に占める料金収入の割合が大きな事業は、ガス事業で95.5%（同96.1%）と最も大きく、次いで病院事業で85.6%（同84.2%）となっている。

第5表 事業別料金収入の推移

(単位：千円、%)

項目	年度		対前年度比較	
	H28 (A)	H29 (B)	(B) - (A) (C)	(C)/(A)
上水道	23,773,555 (79.9%)	25,004,616 (80.9%)	1,231,061	5.2
下水道	13,645,853 (56.0%)	17,964,104 (54.4%)	4,318,251	31.6
病院	60,024,578 (84.2%)	51,303,650 (85.6%)	△ 8,720,928	△ 14.5
ガス	11,016,104 (96.1%)	12,029,338 (95.5%)	1,013,234	9.2
介護サービス	1,249,752 (62.9%)	1,007,145 (83.2%)	△ 242,607	△ 19.4
その他	86,495 (41.1%)	87,416 (41.8%)	921	1.1
計	109,796,337 (78.9%)	107,396,269 (77.9%)	△ 2,400,068	△ 2.2

※ ( ) 内の数値は、総収益に占める料金収入比率

## 4 企業債現在高

平成29年度末における企業債の現在高は3,633億48百万円で、前年度（2,978億円）に比べ655億47百万円（22.0%）増加している。

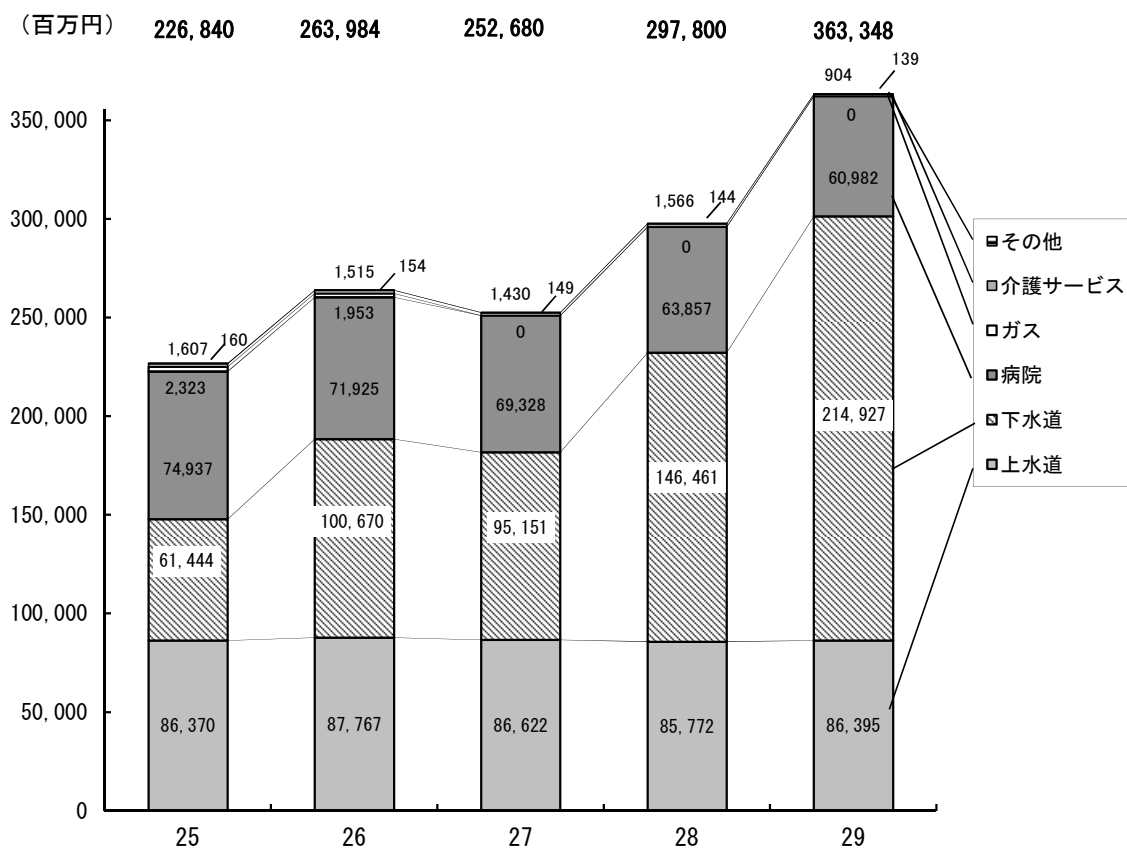
企業債現在高が大きい主な事業は、下水道が2,149億27百万円（全体の59.2%）で最も大きく、次いで上水道事業863億95百万円（同23.8%）、病院事業609億82百万円（同16.8%）となっており、これら3事業で99.8%を占めている。

第 6 表 事業別企業債残高の推移

（単位：千円、%）

項目	年 度		対前年度比較	
	H28 (A)	H29 (B)	(B) - (A) (C)	(C)/(A)
上 水 道	85,772,373	86,395,321	622,948	0.7
下 水 道	146,460,966	214,926,610	68,465,644	46.7
病 院	63,856,644	60,982,129	△ 2,874,515	△ 4.5
ガ ス	-	-	-	-
介護サービス	1,565,954	904,390	△ 661,564	△ 42.2
その他	144,033	139,117	△ 4,916	△ 3.4
計	297,799,970	363,347,567	65,547,597	22.0

第 7 図 事業別企業債現在高の推移





## 5 他会計繰入金

地方公営企業に対しては地方公営企業法等に基づき他会計からの繰入れが行われており、平成29年度繰入額は201億42百万円で、前年度（195億31百万円）に比べ6億10百万円（3.1%）増加している。

この内訳をみると、収益的収入への繰入金が127億5百万円、資本的収入への繰入金が74億37百万円となっており、前年度に比べ収益的収入への繰入れは15億円（1.2%）減少しており、資本的収入への繰入れでは7億61百万円（11.4%）増加している。

繰入額が大きい主な事業は、下水道事業で109億32百万円（全体の54.3%）で最も多く、次いで病院事業76億79百万円（同38.1%）となっている。

第 7 表 事業別他会計繰入金

(単位：千円、%)

年度 項目	H28 (A)	H29 (B)	対前年度比較	
			(B) - (A) (C)	(C)/(A)
上水道	1,221,173	1,230,902	9,729	0.8
下水道	6,799,261	10,932,114	4,132,853	60.8
病院	10,709,127	7,679,431	△ 3,029,696	△ 28.3
ガス	6,246	6,279	33	0.5
介護サービス	698,468	195,830	△ 502,638	△ 72.0
その他	97,224	97,401	177	0.2
計	19,531,499	20,141,957	610,458	3.1

第 8 表 収益的収入への他会計繰入金

(単位：千円、%)

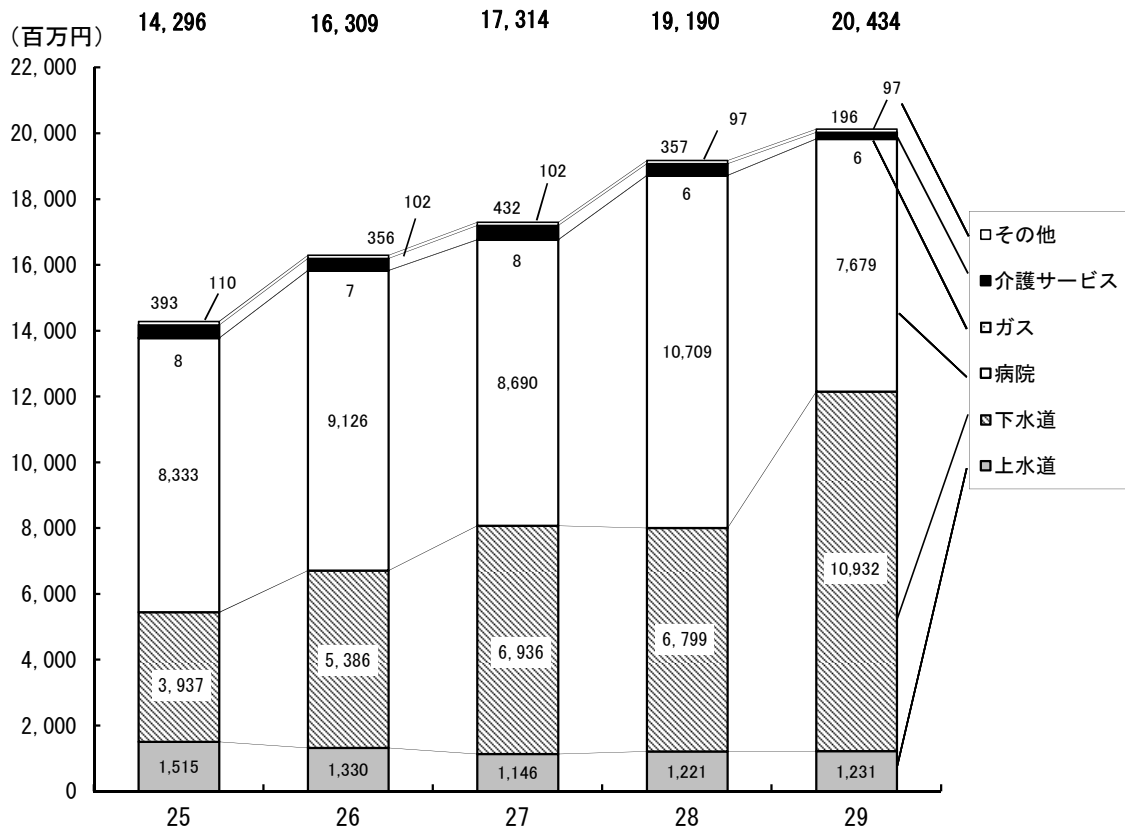
年度 項目	H28 (A)	H29 (B)	対前年度比較	
			(B) - (A) (C)	(C)/(A)
上水道	643,390	577,441	△ 65,949	△ 10.3
下水道	4,812,991	7,262,347	2,449,356	50.9
病院	6,635,197	4,610,887	△ 2,024,310	△ 30.5
ガス	6,246	6,279	33	0.5
介護サービス	660,203	150,830	△ 509,373	△ 77.2
その他	97,224	97,401	177	0.2
計	12,855,251	12,705,185	△ 150,066	△ 1.2

第 9 表 資本的収入への他会計繰入金

(単位：千円、%)

年度 項目	H28 (A)	H29 (B)	対前年度比較	
			(B) - (A) (C)	(C)/(A)
上水道	577,783	653,461	75,678	13.1
下水道	1,986,270	3,669,767	1,683,497	84.8
病院	4,073,930	3,068,544	△ 1,005,386	△ 24.7
ガス	-	-	-	-
介護サービス	38,265	45,000	6,735	17.6
その他	-	-	-	-
計	6,676,248	7,436,772	760,524	11.4

第8図 他会計繰入金の推移



## 6 累積欠損金

累積欠損金とは、営業活動によって欠損を生じた場合に、繰越利益剰余金、利益積立金、資本剰余金等により補填が出来なかった各事業年度の損失（赤字）額が累積されたものである。

平成29年度末において累積欠損金を有する事業数は10事業である。

また、累積欠損金の額は296億5百万円で、前年度（421億62百万円）に比べ125億57百万円（29.8%）減少している。

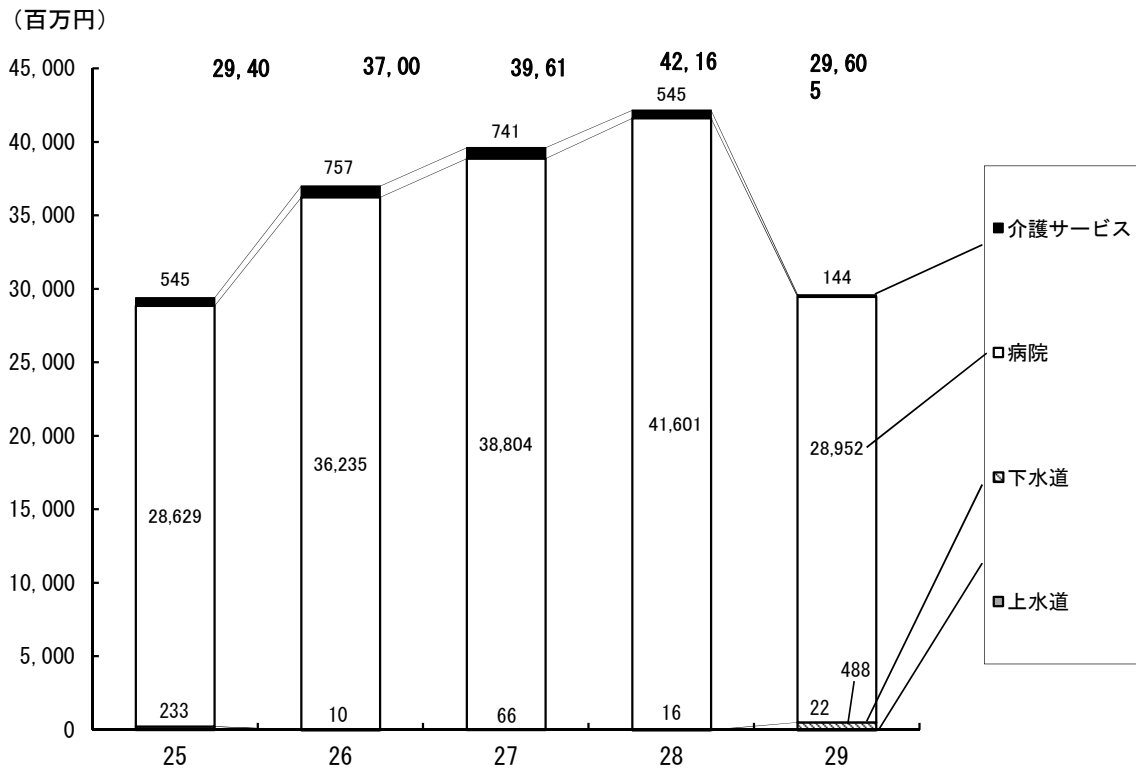
累積欠損金を有する事業の占める割合が大きい事業は、病院事業が7事業で289億52百万円（累積欠損金合計額の97.8%）を占めている。

第10表 累積欠損金の状況

(単位：千円、%)

項目	年度		対前年度比較	
	H28 (A)	H29 (B)	(B) - (A) (C)	(C)/(A)
上水道	16,294	21,831	5,537	34.0
下水道	-	487,915	487,915	皆増
病院	41,601,204	28,951,925	△ 12,649,279	△ 30.4
ガス	-	-	-	-
介護サービス	544,998	143,717	△ 401,281	△ 73.6
その他	-	-	-	-
計	42,162,496	29,605,388	△ 12,557,108	△ 29.8

第9図 累積欠損金の推移



## 7 不良債務

不良債務とは、貸借対照表日現在において、流動負債（建設改良の財源に充てる企業債を除く※）の額が流動資産の額（翌年度へ繰り越される支出の財源充当額を差し引いた額）を超える額である。

平成29年度末において不良債務を有する事業数は、ゼロである。

(単位：千円、%)

項目	年度	H28 (A)	H29 (B)	対前年度比較	
				(B) - (A) (C)	(C)/(A)
病院		27,899	-	△ 27,899	皆減
計		27,899	-	△ 27,899	皆減